

1 単元名 ずうっと、ずっと、大すきだよ

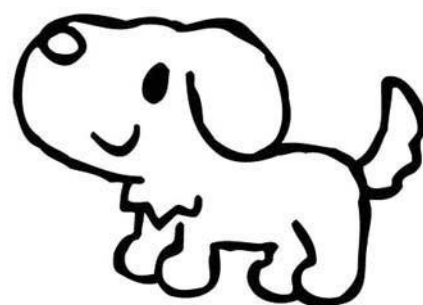
2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	・友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。

3 教材のとらえ

「ずうっと、ずっと、大すきだよ」は、「ぼく」と一緒に成長してきた犬のエルフが、年をとって亡くなるという物語である。さまざまな関わりから「ぼく」がエルフのことを大好きな様子が描かれている。楽しく過ごした思い出だけでなく、エルフが年老いていくのを心配する様子や、エルフが死んでしまって悲しむ様子からも、大好きだったということが読み取れるようにしたい。また、「ぼく」の一人称視点で語られる物語は、本教材が初めてである。「ぼく」がエルフとの出来事を話している、ということをおさえながら学習を進めていきたい。また、出典である「ずうっと ずっと だいすきだよ」の絵本で読み聞かせを行うことで、教科書には使われていない挿絵も読解のヒントにできるようにしたい。

本時では、エルフの死後、「ぼく」がとなりの子から子犬をもらわなかった理由について考える。話し合いの中で、「自分だったら」と考える児童がいると考えられる。叙述や挿絵を根拠にしながら、自分だったらどうするかを理由も一緒に考えることで、「ぼく」の思いにせまることができるようにしたい。



4 本時の指導案

本時の目標 挿絵や本文をもとに、「ぼく」がとなりの子から子犬をもらわなかった理由を考えることができる。

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 全文を音読する。	
2. 本時のめあてを確認する。	
「ぼく」は なんて となりの子から 子犬をもらわなかったのかな	
3. ペアで交流を行う。	○叙述や挿絵をもとに考えられるようにする。
4. 全体で交流する。 ・エルフのことがまだ好きだからだよ。 ・エルフと一緒にたくさん遊んだ思い出があるからだね。 ・となりの子からもらったら、となりの子もさみしい気持ちになっちゃうと思ったのだよ。 ・もらったら、エルフがかawaiiそうって思ったんじゃない。 ・「エルフは気にしないって分かっていた」って書いてあるよ。もらってもエルフは気にしないんじゃないかな。 ・私だったら、エルフが死んでしまって悲しいから、子犬をもらいたいって思うよ。	○吹き出しを用意し、気持ちを書き込めるようにする。
5. 自分だったら、子犬をもらいたいかな話し合う。	
もらいたい ・一緒に大きくなったエルフが死んでしまって本当に悲しい。だからもらいたいな。 ・「いつか ぼくも、ほかの犬を、かうだろうし」って書いてあるよ。もらいたい気持ちがあるよ。	
もらいたくない ・エルフとの思い出がたくさんあるよ。新しく子犬をもらったら、エルフとの思い出がなくなってしまうそうだな。 ・となりの子の方が小さい子だから、もらわないよ。	
6. 振り返りをする	○友達の考えをきいて分かったことや、参考になった意見などを振り返る。